

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践	担当課	企画経営課, 協働推進課, デジタル行政推進課, 関係各課	連絡先	042-481-7368
基本的取組	1-1	参加と協働のまちづくりの実践				
プラン	1	市民参加と多様な主体との連携・協働の推進				

1 プランの内容

市民参加と協働を一層推進するため、調布市審議会等の会議の公開に関する条例や調布市パブリック・コメント手続条例の適切な運用を図るとともに、これまでの参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえて、幅広い意見の把握や多様な主体との連携につながるよう、運用改善や創意工夫に引き続き取り組む中で、調布市市民参加プログラム等の見直しにつなげていきます。さらに、市民等による地域情報化における多様な主体との連携を図ります。						
年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用</li> <li>◆市民参加プログラム等の課題整理・見直し検討（市民参加・協働の実践を踏まえた運用改善）</li> <li>◆多様な主体との協働・連携</li> <li>◆市民等による地域情報化における多様な主体との連携</li> </ul>				

2 取組状況

前	【取組計画】（PLAN）	<p>○市民参加・協働実践状況調査により、市民参加手続と協働事業の実践状況を把握し、具体的な成果や課題等を検証するとともに、参加と協働の前提となる市政情報の共有を図るため、市民参加・協働実践状況報告書として取りまとめて公表します。</p> <p>○新入職員等を対象とした職員研修を実施し、参加と協働の実践に必要な知識・技能の習得を図ります。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、適切な運用を図ります。</p> <p>○コロナ禍を踏まえてオンライン手法の活用を含め、様々な市民参加手続を実践する中で、運用改善や幅広い市民意見の把握につなげるため、創意工夫に継続して取り組むとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを推進します。</p> <p>○調布地域情報化推進協議会をはじめ、市民等との地域情報化に資する事業の実施に向けた支援を行います。</p> <p>○地域社会のデジタル化の推進に向けて多様な主体との連携を図ります。</p> <p>○市民、事業者、教育機関等と行政との協働による地域情報化を推進するため、地域情報化推進連絡会議を通じた情報共有・連携を図ります。</p>				
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<p>○市民参加・協働実践状況調査により、市民参加手続と協働事業の実践状況を把握し、具体的な成果や課題等を整理することができました。</p> <p>○新入職員等を対象とした研修の実施をおとして、職員の参加と協働に関する知識の定着を図ることができました。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、適切な運用を図ることができました。</p> <p>○コロナ禍においても継続して運用改善や幅広い市民意見の把握につなげるため、オンライン手法の活用も含め、創意工夫の下、様々な市民参加手続を実践するとともに、多様な主体と連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを推進しました。</p>				
期	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる ○					
	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<p>○市民参加・協働実践状況調査により把握した具体的な成果や課題等を検証し、幅広い市民意見の把握につながる創意工夫や運用改善を踏まえた市民参加と協働の仕組みづくりにつなげていきます。</p> <p>○市民参加推進研修を実施し、引き続き職員における参加と協働に関する知識の向上、実践的な能力の向上を図ります。</p> <p>○市民参加推進協議会を開催し、市民参加と協働に係る運用改善や創意工夫に取り組むとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体との連携・協働を図ることで参加と協働のまちづくりを推進します。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、実践状況を踏まえた運用改善に努め、適切な運用を図ります。</p> <p>○調布地域情報化推進協議会をはじめ、市民等との地域情報化に資する事業の実施に向けた支援を行いました。</p> <p>○毎月開催される調布地域情報化推進協議会に参加し、情報提供等の支援を行うとともに、「市民団体がもっとうまく情報発信ができるようになるには」をテーマに、地域メディア・広告媒体紹介チラシの作成支援を行いました。</p>				
後	【取組計画】（PLAN）	<p>○市民参加推進研修等の職員研修を実施し、職員の参加と協働に関する知識の向上、実践的な能力の向上を図ります。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。</p> <p>○参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえ、幅広い市民意見の把握や創意工夫に取り組む中で、市民参加プログラム等の見直しを検討します。</p> <p>○コロナ禍を踏まえてオンラインなど、様々な市民参加手法を活用する中で、運用改善や幅広い市民意見の把握につなげるため、創意工夫に継続して取り組むとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを推進します。</p> <p>○調布地域情報化推進協議会をはじめ、市民等との地域情報化に資する事業の実施に向けた支援を行います。</p> <p>○地域社会のデジタル化の推進に向けて多様な主体との連携を図ります。</p> <p>○市民、事業者、教育機関等と行政との協働による地域情報化を推進するため、地域情報化推進連絡会議を通じた情報共有・連携を図ります。</p>				
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<p>○職員研修の実施をおとして、参加と協働の推進に関する職員の知識の定着、実践的な能力の向上を図りました。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、実践状況を踏まえた運用改善に努め、適切な運用を図りました。</p> <p>○コロナ禍においても、幅広い市民意見の把握につながるよう、創意工夫や運用改善に取り組むとともに、オンラインなどのICTを活用することで、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体との連携・協働を図りました。</p> <p>○毎月開催される調布地域情報化推進協議会に参加し、情報提供等の支援を行うとともに、デジタル社会を実現するうえでの課題である、行政のデジタル化及び高齢者のデジタルリテラシー向上に関する報告会の開催を支援しました。</p> <p>○ICT東京フォーラム実行委員会主催の講演会「デジタル化に向けた行政と地域社会の課題」を共催しました。</p> <p>○市民、事業者、教育機関等と行政の協働による地域情報化を推進するため、庁内会議である地域情報化推進連絡会議において、関係各課の地域情報化関連事業に関する取組について情報共有・連携を図りました。また、同会議に調布地域情報化推進協議会の事務局（調布市地域情報化コンソーシアム）が出席し、本協議会において取りまとめた令和3年度地域情報化に関する事業報告について情報共有を図りました。</p>				

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
A	<p>○職員研修を通じて、引き続き、参加と協働に関する知識の定着、実践的な能力の向上を図ります。</p> <p>○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図るとともに、実践を踏まえた課題整理に基づく創意工夫や運用改善に継続して取り組みます。</p> <p>○オンライン手法やオンラインとオンラインの併用など、多くの市民の参加を得ながら幅広い市民意見の把握につなげるための創意工夫や運用改善に努めるとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを一層推進します。</p> <p>○調布地域情報化推進協議会の活動支援や、オンライン手法を活用した共催事業の取組を踏まえ、引き続き、多様な主体と連携した地域情報化を推進します。</p> <p>○（仮称）デジタル化総合戦略を策定するに当たり、市民、事業者、教育機関等との連携・協働を図っていきます。</p>

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践				
基本的取組	1-2	参加と協働の推進のための環境整備	担当課	協働推進課	連絡先	042-481-7036
プラン	2	市民活動・地域コミュニティ活動に関する支援の推進				

1 プランの内容						
市民活動・地域コミュニティ活動の更なる活性化につなげるため、市民活動支援センターにおける様々な相談への対応や情報発信、コーディネート等の取組を推進します。また、交流事業のほか、地域活動情報紙や地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した市民活動のきっかけづくりを推進します。						
年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民活動・地域コミュニティ活動の支援に関する取組の検討・実施</li> <li>◆市民活動支援センターの課題を踏まえた運用改善等の検討、実施</li> <li>◆地域活動情報紙を活用した市民活動のきっかけづくり</li> <li>◆地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した情報提供・情報共有の推進</li> </ul>				

2 取組状況						
前 期	【取組計画】(PLAN)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動支援センター運営委員会や定例会議への参加等を通じて、運営団体(調布市社会福祉協議会)と意見交換を行います。</li> <li>○令和2年度に実施したニーズ調査の結果を踏まえた市民活動支援センター機能の効果的な活用に向けて、課題を整理します。</li> <li>○地域活動情報紙の発行に向けた企画・検討を行います。</li> <li>○市民交流事業である「調布まち活フェスタ」を充実させるための検討を行います。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」で、特集記事を充実させるなど、市民活動の情報発信に繋がります。</li> </ul>					
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動支援センター運営委員会や定例会議への参加を通じて、運営団体との意見交換を行いました。</li> <li>○市民活動支援センター運営委員会において、市民活動支援センターの利用促進に繋がる取組を検討しました。</li> <li>○ニーズ調査について、今後における結果の取りまとめや分析方法の検討を行いました。</li> <li>○地域活動情報紙の発行に向けた企画・検討を行い、コロナ禍の影響を踏まえ、「地域のつながり」をテーマとし、令和4年2月に発行することを決定しました。</li> <li>○「調布まち活フェスタ」について、昨年度に引き続き市民活動支援センターが主体となって企画・実施するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度初めて実施したオンライン配信を発展させた内容で実施できるよう、定例会議に参加し、意見交換を行いました。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」において、地域の活動レポートや特集記事にて、地域でのイベント紹介や活動の様子を掲載することで、コロナ禍においても感染防止対策を行いつつ工夫しながら活動する団体等の紹介を行いました。</li> </ul>					
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○					
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動支援センター運営委員会や定例会議へ参加し、市民活動支援センター機能の活用に向けた検討・整理を行います。</li> <li>○ニーズ調査の集計・分析を行い、市民活動支援センター運営委員会にてより充実したサービスの検討を行います。</li> <li>○市民活動の活性化を図るため、市民活動支援センターとの協働による講座等の開催について検討します。</li> <li>○地域活動情報紙について、令和4年2月の発行に向けて準備を進めます。</li> <li>○「調布まち活フェスタ」について、実行委員及び出展団体同士の交流を図るとともに、昨年度のオンライン開催を発展させ、より多く市民に市民活動のPRをできるよう、市民活動支援センターと協議しながら開催に向けて取り組みます。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」においては、特集記事や地域活動レポートなど、その時期に応じた情報の掲載・効果的な発信を検討します。</li> </ul>						
後 期	【取組計画】(PLAN)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動支援センター運営委員会や定例会議への参加等を通じて、運営団体(調布市社会福祉協議会)と意見交換を行います。</li> <li>○市民活動支援センター機能の適切な発揮に向けて、整理した課題を踏まえた運用を検討します。</li> <li>○市民活動で活躍する人材を養成・発掘する地域人材養成講座を実施します。</li> <li>○地域活動情報紙を発行します。</li> <li>○市民交流事業である「調布まち活フェスタ」を実施します。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」で、特集記事を充実させるなど、市民活動の情報発信に繋がります。</li> </ul>					
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動支援センター運営委員会や定例会議への参加を通じて、運営団体(調布市社会福祉協議会)と意見交換を行いました。</li> <li>○市民活動支援センターの新たな取組として、センター内に市民参加型の図書館「えんがわ文庫」を設置し、市民の交流を促進しました。</li> <li>○市民活動で活躍する人材の養成・発掘を目的として、「ファシリテーション」をテーマに地域人材養成講座を実施しました。</li> <li>○令和4年2月に、「地域のつながり」をテーマにした地域活動情報紙を発行しました。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「調布まち活フェスタ」をオンラインで実施し、市内の学生と飲食店が連携した企画や、各地区協議会の紹介動画を制作・配信する等、地域活動の活性化に取り組みました。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」の特集記事を充実させるなど、市民活動に関する情報発信の推進につなげました。また、スマートフォンで見やすいデザインにするとともに、写真の掲載数増加や地図情報の表示機能を追加するなど、サイトのリニューアルを行いました。</li> </ul>					
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○					
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)					

3 年次評価及び総括						
年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)					
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動の担い手が増えるように、市民活動支援センターにおける機能の有効活用に向けて取り組みました。次年度以降は、市民活動支援センターと連携し、意見交換や利用に関するニーズ調査の結果等を踏まえ、市民活動の促進に資する取組を推進します。</li> <li>○調布まち活フェスタの実行委員会や出展団体者会議をとおして、市民の交流を創出することができました。令和4年度は、市民活動をより活性化させるため、コロナ禍においても実施可能な、新たなオンライン手法の更なる活用を検討します。</li> <li>○地域コミュニティサイト「ちょみっと」や市ホームページの活用、地域活動情報紙の発行等により、市民活動を広く周知しました。今後も様々な媒体を活用することで、より効果的な情報発信に取り組みます。</li> </ul>					



方針	1	参加と協働のまちづくりの実践	担当課	協働推進課	連絡先	042-481-7122
基本的取組	1-2	参加と協働の推進のための環境整備				
プラン	3	コミュニティ施設の在り方検討				

1 プランの内容		
市民の様々な活動の拠点として利用されている地域福祉センター及びふれあいの家について、市民ニーズや求められる機能のほか、双方の施設の関係性、施設運営上の課題を踏まえて、コミュニティ活動の場の確保方策も含めた今後の在り方や方向性を検討・整理します。		
年度別計画	令和3年度	◆コミュニティ施設に関する在り方や方向性の整理

2 取組状況	
前 期	<b>【取組計画】(PLAN)</b> ○各ふれあいの家運営委員会と連携を図りながら、現在の運営委員会の体制や運営方法の見直し・整理を行います。 ○ふれあいの家で昨年度に試行で導入したスマートロック <sup>※</sup> について、新たな施設に導入します。
	<b>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</b> ○モニタリング実地調査において、各運営委員会の課題の把握や指定管理者としての運営について意見交換を行いました。 ○スマートロックについて、令和3年9月から2施設目のふれあいの家に導入し、運用を開始しました。また、各運営委員会における課題の聞き取りの結果、鍵の管理を最も課題としていた2箇所 <sup>○</sup> のふれあいの家について、運営委員会からの要望に基づき、令和3年度の第3四半期からの運用開始に向けて、スマートロックを追加設置しました。
	<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK)</b> ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ◎
	<b>【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)</b> ○指定管理者として指定期間の4年目となる次年度に向けて、次期の指定期間に対する各運営委員会の意向の把握を進めます。 ○スマートロック導入による運営委員会の負担軽減効果について、検証を行います。 ○地域福祉センターでのインターネット予約導入に向けた取組をはじめます。 ○施設運営における新型コロナウイルス感染症の影響を把握し、運営支援について検討します。
後 期	<b>【取組計画】(PLAN)</b> ○ふれあいの家のモニタリング実地調査を通じて、今後の運営についての課題及び意向の確認をします。 ○各ふれあいの家運営委員会の課題等を踏まえ、各運営委員会に応じた対応策の検討を行います。 ○地域福祉センターのインターネット予約導入に向けて、予約システムの調査や現状の受付方法の課題整理を行います。 ○施設運営における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、必要に応じた運営支援を実施します。
	<b>【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)</b> ○モニタリング実地調査の結果を踏まえ、次期指定管理者の指定に向けて、現在の各運営委員会の課題及びその対応策のほか、指定管理委託料を含む運営経費の考え方について、意見交換を行いました。 ○新たに2箇所 <sup>○</sup> のふれあいの家でスマートロックの運用を開始し(合計4施設)、運営委員会における鍵の管理業務に係る負担軽減を図りました。 ○地域福祉センターにおけるインターネット予約システムの導入に向けて、既存のシステムについて調査し、導入方法やスケジュール等の課題を整理しました。また、令和4年5月に開設するふじみ交流プラザにおいては、地域福祉センターに先行して、令和4年度下半期にインターネット予約を導入することとしました。 ○新型コロナウイルス感染症の影響への対応として、ふれあいの家の全体の収支状況を踏まえたうえで、各運営委員会と協議しながら、消耗品の購入や修繕などの支援を行いました。

※スマートロック：電子機器を用いて、暗証番号で鍵の開閉・管理ができるシステムのこと

3 年次評価及び総括	
年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	○各ふれあいの家の運営委員会の課題や次期の指定期間に対する考え方などについては、2回のモニタリング実地調査を通じて、把握することが出来たため、次年度は次期の指定期間も含めた具体的な運営方法について確認・協議を進めます。 ○令和2年度から試行的に導入しているスマートロックについて、令和3年度新たに3箇所 <sup>○</sup> のふれあいの家に導入しました。導入施設が計4施設となり、運営委員会から負担軽減などについて評価いただいていることから、ふれあいの家運営委員会での指定管理業務に関する負担軽減策の一つとして今後も更なる設置を検討します。



方針	1	参加と協働のまちづくりの実践			
基本的取組	1-3	市政情報の積極的な提供	担当課	総務課	連絡先 042-481-7370
プラン	5	適正な公文書管理の推進			

### 1 プランの内容

文書管理システムの適切な運用や研修等を通じて、適正な公文書管理事務を推進することで、市政の透明性・信頼性を高めるとともに、市民共有の財産である公文書の適正な管理・保存・公開に取り組みます。

年度別計画	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文書管理システムを活用した文書管理事務の推進</li> <li>◆非現用文書*の整理、修復、デジタル化の推進</li> <li>◆文書管理に関する研修等の実施</li> </ul>
-------	-------	--

\*非現用文書：保存期間が満了した公文書のこと

### 2 取組状況

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文書管理システムを活用した公文書の適正な管理を行います。</li> <li>○歴史公文書の修復及びマイクロ・デジタル化を実施します。</li> <li>○文書管理に関する説明会やファイリングの点検を実施します。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文書管理システムの操作方法等の問合せに迅速に対応し、適正な管理を推進することができました。</li> <li>○劣化対策の対象となる歴史公文書の修復を実施しました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、文書管理システムの適切な運用に取り組むとともに、文書の保管場所の安定的な確保に向けた検討を進めます。</li> <li>○修復した歴史公文書の公開に向け、対象資料のデジタル化を進めます。</li> <li>○文書の適正管理に向けた研修等に取り組めます。</li> </ul>
後 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文書管理システムを活用した公文書の適正な管理を行います。</li> <li>○歴史公文書の修復及びマイクロ・デジタル化を実施します。</li> <li>○適正な文書管理に関する研修等を実施します。</li> <li>○各部署のファイリング巡回点検を実施し、公文書の適正な管理を行います。</li> </ul>
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文書管理システムの操作方法等の問合せに対する円滑な運用支援により、公文書の適正管理の推進を図りました。</li> <li>○前期に歴史公文書として選別した文書の目録作成を継続するとともに、劣化などが進んでいる資料の修復及びデジタル化を実施しました。</li> <li>○町村合併時期を中心に資料の修復を行うとともに、マイクロ・デジタル化(541コマ)を実施することで、資料の適切な保存を図りました。</li> <li>○令和2年度末に選別した歴史公文書の一次目録を作成することで、歴史公文書を適切に管理できるように準備を進めました。</li> <li>○令和3年11月に発覚した市政情報公開手続における個人情報の不適切な取扱い等について、情報公開審査会及び個人情報保護審査会を開催し、意見をいただきました。あわせて、庁内会議を通じて、個人情報及び電子メールの取扱いや情報公開制度について改めて周知しました。</li> <li>○文書の適正管理及び取扱いについて基本的事項を再確認するために、令和4年3月に文書管理等事務説明会の資料を各課に送付しました。その中で、電子決裁事例を紹介し、電子化率向上に向けた周知を行いました。</li> </ul>
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、文書管理システムの適切な運用に取り組むとともに、文書の保管場所の安定的な確保に向けた検討を進めます。</li> <li>○修復した歴史公文書の公開に向け、対象資料のデジタル化を進めます。</li> <li>○文書の適正管理に向けた研修等に取り組めます。</li> </ul>

### 3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文書管理システムの適正かつ円滑な運用支援を行い、文書の適正管理の推進を図りました。今後も文書管理システムによる文書の作成から保存までの取組を推進します。あわせて、電子化率の向上にも取り組みます。</li> <li>○次年度以降も引き続き、保存期間を過ぎた文書から歴史文書を選別し、目録作成に取り組むほか、劣化などが進んでいる資料の修復・デジタル化を進めます。</li> <li>○令和3年11月に発覚した市政情報公開手続における個人情報の不適切な取扱い等について、公文書の適正な取扱いに関する研修等を行い、再発防止に努めます。</li> </ul>